

みらしるべ

発行責任者 **四街道市青少年補導委員連絡協議会**
会 長 久保木 利雄

事務局 青少年育成センター
電 話 043(421)7867

第三十九回四街道市青少年健全育成推進大会・街頭キャンペーン

街頭キャンペーン



七月一日(土)四街道市文化センターに於いて、第三十九回四街道市青少年健全育成推進大会が開催されました。

大会では、青少年健全育成成功労者として、青少年補導委員の栗原孝子氏と塚本勝邦氏が青少年の健全育成及び非行防止の推進に貢献されたとして表彰されました。

青少年の主張では、市内小中学生、高校生の児童生徒五名による発表が行われました。

講演では、角谷敏夫氏による「学びと感動が人を変える」刑務所の中の中学校桐分校」の演題で、さまざまな理由で義務教育を修了することができなかった受刑者が学ぶことにより変わっていく様子を述べられました。先生の熱弁に会場全員が感動しました。

大会終了後に予定されていた「愛の一声」啓発キャンペーンは、天候不順のため中止になりました。



栗原氏



塚本氏

参加者の感想

四街道市青少年健全育成推進大会に参加しました。角谷先生の講演を聴いて、全国唯一の刑務所の中の中学校での教育の様子がよくわかりました。中学校との演題だったので、生徒は比較的若い生徒なのかと思っていました。年齢の高い方もたくさんいることに驚きました。本日の講演で学んだことをこれからの青少年補導委員活動に活かしていきたいです。
四街道西中学校区 関根 登志夫

第十八回定期総会

五月二十日(土)青少年育成センター二階に於いて、定期総会が開催されました。

府川雅司教育長職務代理者より青少年補導委員二十九名が新たに委嘱を受け総勢八十名の体制で今年度の活動を開始致しました。

平成二十九年千葉県青少年補導委員総会

六月十七日(土)市川市生涯学習センターに於いて、千葉県青少年補導委員総会が開催されました。当市からは、六名が参加しました。

県下より、各市を代表する代議士が一同に会し事業や予算について審議し、新たな年度の青少年健全育成や非行防止への取り組みを確認しました。



第四十八回千葉県青少年

補導(委)員大会

七月一日(土)流山市文化会館に於いて、千葉県青少年補導(委)員大会が開催されました。当市からは八名が参加しました。

大会では、当市青少年補導委員の大沼滋子氏・金子浩明氏・北野美子氏が千葉県青少年総合対策本部長より永年の補導活動に対して表彰されました。

流山市立流山小学校の音楽部児童による合唱アトラクションの後、講演がありました。

講演では、元歌手の千葉マリア氏による「薬物依存症の回復に向けて考える」の演題で、「自身の長男の薬物依存症から立ち直った経験談や、現在活動中の「女性専用薬物依存リハビリ支援」についても話されました。また、実際に入所・治療中の女性もステージに立ち、薬物依存症になった経緯を話されました。



受賞者の声

「補導委員になりませんか。」と声をかけられて、あつという間に十年が過ぎました。最初は、子ども達に声をかける事が難しく不安でした。しかし今では、公園などで会った時「こんにちは」「ご苦労様です。」と笑顔で声をかけてくれる子ども達が増えました。顔を覚えてもらええる事が子ども達への声かけのきっかけとなり、活動の励みにもなりました。これからも子ども達を見守り「愛の一声」をかけていきたいと思えます。

千代田中学校区 北野 美子

大沼 氏 金子 氏 北野 氏



第六十七回社会を

明るくする運動

七月十三日(木)四街道市保健センターに於いて、社会を明るくする運動が開催され、四街道警察署生活安全課長岩立順子氏の「青少年の非行の現状と防止について」の講演がありました。インターネットや携帯電話(スマートフォン)を介して、知らない人と通じる恐さ、自分や友達の情報を公表する

危険性等についてお話をされました。また、刑法犯少年数は減少するも「電話d.e詐欺」の検挙数は増加の傾向にあると話されました。

四街道市青少年補導委員

連絡協議会第一回研修会

青少年補導委員の活動と

アサーティブ コミュニケーション

七月十日(月)四街道市青少年育成センター二階オープンスペースに於いて、第一回研修会が開催されました。今回の研修会は二部構成で開催され、第一部では青少年育成センターの山田孝雄指導主事による「青少年補導員の活動」について講義していただきました。第二部では、補導委員でもある高根留美氏が「アサーティブコミュニケーション(自分も相手も大切にする自己表現)」について講義頂きました。どちらの講演も、これからの補導

委員活動に活かしていただける内容で参加した補導委員全員熱心に聞き入り、最後はグループ毎に演劇形式でアサーティブに伝えるために使うとよい方法の実践練習も行いました。

県下一斉・市内高校生合同

パトロール

八月二日(水)比較的しのぎやすかった中、県下一斉・合同パトロールが行われました。

本年度は、四街道警察署生活安全課や北総地区少年センターからの協力に加え、市内高校生十名と各高校の引率の先生方にも参加頂き総勢四十六名でパトロールを実施しました。

パトロールは五コースに分かれて、啓発グッズを渡しながら夏休み中の子どもたちを中心に、いろいろな年齢層の方々にも声かけをしました。



市内高校生のみなさん

参加した高校生の感想

わろうべの里で遊んだり、勉強したりしている姿を見て、ユニバーサルデザインとはこういうものなのかと思いました。他にもこういう場所に人と人が集まり話の輪が広がるのかなと思いました。

千葉敬愛高校

このようなパトロールなどで治安が良くなるんだなと思いました。声をかけた時に笑顔で返してくれてとても嬉しく思いました。良い活動だなと思いました。

四街道北高校

このような活動はあまり経験がなく声をかけて地域の方と交流が持てとても良いと思いました。人に声をかけることはためらうことが多いけど、この経験を活かして克服できるようにしたいと思います。

四街道高校

初めての経験でしたが、うちわなど笑顔で受取ってくれてとても良い経験になりました。挨拶すると返してくれてとても気持ちよくパトロールが出来ました。

愛国学園大学附属

四街道高校

参加者の感想

高校生と初めてのパトロールでした。真面目で可愛い高校生達は、声かけは大変だろうと思いましたが、頑張っている姿が微笑ましかったです。

当日はパトロールしやすい曇りのわりに、人通りが少ないなか「ご苦労様です。」と声をかけられ、四街道市民の温かさを感じられました。

夏休みで元気に遊ぶ子ども達も青少年補導委員のことを知っていて「絆創膏をもらったことあるよ。」との言葉があり、安心・安全・抑止力の一翼を担っていると自信に繋がりました。

今回の高校生とのパトロールは、声をかける側の青少年補導委員への理解、声をかけられる側の安心感を学んで頂けたかなと思っております。高校生からは「大変、貴重な体験をしました。」との嬉しい感想もありました。

千代田中学校区 大谷 満子



第一回千葉ブロック研修会

八月二十五日(金)市原市民会館に於いて、千葉県青少年補導員連絡協議会第一回千葉ブロック研修会が開催されました。当市からは十名が参加しました。

千葉県環境生活部県民生活・文化課主幹佐藤元哉氏が、青少年の携帯電話普及率・ネット利用者の増加により青少年がネット上に晒される問題が多くなっている状況を踏まえ「ネットパトロールをとおして気づく青少年の行動」の演題で佐藤氏は、子ども達に本名・学校名・友達の名前・顔写真を無断で掲載しない。友達の悪口は書かない。ネットに載った個人情報消えずに広がる。ということ、保護者には取り返しのないことが起きる前に、フィルタリングをかけるようにして欲しいと話されました。

最後に、青少年補導委員に對し連携が重要であると呼びかけられました。後半は、各市より「市補連活動の現状と課題」の報告がされました。

見守りの輪を広げよう！
小学校の終業式に於いて

七月二十日(木)四街道市内の全小学校に於いて、終業式の場をお借りして、全校生徒の前で補導委員の活動紹介をしました。

参加者の感想

今回は夏休み前の紹介だったので、早くに補導委員のことを知ってもらうことが出来ました。前回の紹介から半年、一年生以外の在校生への認知度は高く、更に補導委員の活動を知ってもらった良い機会になりました。これからも子ども達の安全を見守っていきたいと思います。

四街道北中学校区 津嶋 麻耶



南小学校の様子

大日小学校の様子



